

【オンライン東京教区報恩講】



本願力

横浜別院だより

〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

横浜市港南区日野一丁目十一番

FAXTEL (045) 841-3434
(045) 841-3428
(http://www.yokohama-ootani.com)

空模様

輪番 森田 成美

「冬来たりなば、春遠からじ」という言葉がありますが、横浜別院に赴任して二回目の春を迎えます。ということは二回の冬を横浜で過ごしたことになります。

冬の寒い時季を横浜で過ごす中で感じたことは、空が青いなあーということでした。気温は低くても空にはお日様が出て、青々とした空が広がっています。横浜の皆さまには普通のことなのでしょうが、自坊があります北陸金沢では中々ないことなのです。去年今年とテレビのニュースで日本海側の大雪の模様が映し出されると、横浜に居ながらその空の青さが恨めしく思えるのです。特に横浜に住まう前の八年間は雪の多い新潟で過ごしていましたので比べる必要のないものを比べて何んだかなあーと思ってしまふのです。

この冬も、北陸の大雪が報道された日に横浜の青空をスマホで写し、「横浜はこんな青空です。長崎（私の生まれ故郷）の冬の空もこんなだったかなあー」と金沢にメールしたところ、「正月に帰った時に、外に洗濯物干してたよー」と返信がありました。

長崎の空の青さは忘れて、横浜の空の青さを恨めしく眺めていたのです。

「凡夫（ぼんぷ）というは、無明（むみょう）煩惱（ぼんのう）われらがみにみちみちて、欲（よく）もおおく、いかり、はらだち、そねみ、ねたむところをおおく、ひまなくして臨終（りんしゅう）の一念（いっぴん）にいたるまでとどまらず、きえず、たえず、水火（すいけ）二河（にが）のたとえにあらわれたり」

（『一念多念文意』）

親鸞（しんらん）聖人（せいじん）のお示（し）しの通りの私の姿がそこにありました。何でも自分のモノサシではかって、自分が正しいという所に立って、そして迷っているのでしょうか。

相田（あいだ）みつをさんの言葉に、「そんなことか人間のものさし、うそかまことか佛（ほとけ）のものさし」とあります。

私（わたし）にはどこまでいっても「人間のものさし」しか持てないのですが、そのものさしではなかったことも「佛（ほとけ）のものさし」で照（て）らしていただき、確かめてみることは出来るのではないのでしょうか。

照（て）らされてみれば、横浜（よこはま）の空（そら）も金沢（かんなざわ）の空（そら）も私（わたし）を包（か）む自然（しぜん）の空（そら）模様（ようよう）でありました。



— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 — 2022年3月～5月

～どなたもご自由にお参りください～

定例法話 午後1時30分より

3月9日(水)横浜組 妙玄寺 池田理道 師
3月28日(月)別院 列 座 佐竹大樹 師
4月9日(土)三浦組 浄栄寺 岩崎俊文 師
4月28日(木)別院 列 座 家本久和 師
5月9日(月)川崎組 長弘寺 広瀬一海 師
※5月28日の定例法話は休みです

※法話終了後の「座談会」は休止中です。
※「正信偈の会」は休止中です。

春季彼岸会法要 午後1時30分より
3月23日(水)・24日(木)

【法話】名倉 幹 師

(真宗大谷派北米開教使)

お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を
偲ぶと共に、自分の生活を振り返る大切な
時です。

有縁の皆様におかれましては、ぜひご参
詣ください。

グリーフケアのつどいのご案内

【日時】 4月16日(土) 午後2時～
6月18日(土) 午後2時～
8月6日(土) 午後2時～

突然起きてくる人間の悲しみに共感を求めて
グリーフケアを行なっています。

※参加費・申し込みは不要です。
詳細は同封のチラシをご覧ください。

永代経法要 午後1時30分より
5月28日(土)・29日(日)

【法話】海 法龍 師 (三浦組長願寺住職)

この法要は、私までのちを届けてくださっ
た先輩・先達に想いを馳せ、そこに相続され
てきた本願のみ教えを聞きひらき、私の人生
を問い直す大切な御仏事であります。

末法濁世の様相を呈して混迷を深めていく
現代社会にあって、いよいよ真実の教法に照
らされて生きることが願われるのであります。

どうぞご参詣ください。

【開かれたお寺づくりイベント】

3月26日(土) 14時～16時 (13時30分受付)

※事前申し込み制・参加費1,000円

コロナ禍で、命の大切さを感じた人も多い
と思いますが、実際には、恐れや不安など
のネガティブな感情が増え、自殺者なども
増えているのが現状です。この現実是我々
に何を問いかけているのか?

『今を大切に生きてほしい…』

その想いを「食」や「プラネタリウム」
という楽しさを通して、感じてもらうため
に開かれたお寺づくりイベントとして開催
します。詳細は同封のチラシをご覧ください。

**【宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開
宗八百年慶讃法要東京教区お待ち受け大会】**

- 東京教区500カ寺からつながる -
オンラインお待ち受け大会

〈ライブ配信上映について〉

6月13日(月) 13時30分～

〔上映会場〕：横浜別院・研修室

〔講 師〕：池田勇諦 師

(同朋大学名誉教授)

※参加費・事前申し込み不要です。

お誘い合わせの上、ご参加下さい!

編集後記

今月の表紙一面の写真
は東京教区報恩講に参詣
している様子です。ご覧
のとおり、真宗会館で厳
修されている報恩講を別
院研修室のモニターを利
用して参詣しているわけ
です。コロナ禍から、二
年以上経ちまして、イン
ターネットを利用しての
会議や講座、研修会、各
法要がごく自然に開催さ
れるようになりました。
例え、コロナ禍が起きな
かったとして、政府が推
し進める社会全体のデジ
タル化の流れは止められ
なかったと思いますし、
良くも悪くもコロナ禍に
より、デジタル化がより
進んだと感じられます。
しかしながら、デジタル
化により、これまでより
も便利になり、すべて解
決してくれるわけではな
いと思います。矛盾でしょ
うが、デジタル化できる
こともしない方が良く
いうこともあるでしょう。
再び団体参拝できる日を
待ち望みます。(家本)